

大矢部中学校区

青少年育成推進員構成人員	現在員 6 名 (定数7名)
活動内容	<p><定例会> 予定共有、日程打ち合わせ、情報交換など 基本的に1回/月開催</p> <p><地域連絡会> 書面にて総会開催@7月15日(土)~7月25日(火)</p> <p><学校訪問> 大矢部中学校、森崎小学校@5月25日(木) 大矢部小学校@5月26日(金)</p> <p><学校行事協力> 大矢部中学校体育祭パトロール@9月28日(木) 森崎小学校運動会パトロール@10月28日(土)</p> <p><協議会事業> 非行防止キャンペーン啓発ポスター募集に5名応募 非行防止キャンペーン@11月4日(土) 公郷、岩戸中学校区と合同で北久里浜駅前にて実施</p> <p><独自事業> 夜間パトロール 町内会・自治会夏祭りに合わせて実施 奨励賞表彰 生徒会役員7名に記念品を贈り表彰</p>
活動紹介	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <h2 style="color: blue;">働き方改革下の試み</h2> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>非行防止キャンペーン・啓発ポスターと中学校対抗ウォークラリー・イメージイラスト募集に際し、これまで学校側に依頼していた①生徒への告知と②作品の受領方法を、それぞれ、以下のようしました。</p> <p>①募集ポスターを掲示 ②作品受領会を開催 また③事前画用紙配布会を企画しました。</p> <p>その結果、 ①校内掲示板は使用頻度が高く、長期間掲示してもらうのは難しいことがわかりました。 A4大の募集チラシ(ネット印刷なら1660円/400枚程度のコスト)を全校配布す</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>る方法が良いと思いました。 ②一時間目の休み時間に「リスト(年組・氏名)記入→リスト番号を作品に貼付→リストと作品を写真撮影」という手順で受付ました。 年組・氏名が画用紙裏に記載されており、更に同情報を記載した包装に入れて提出してくれたので、前述の受付手順は不要でした。 ③夏休み一週間前から三者面談期間(全校登校では無くなる)に入ることを知らず、実施しませんでした。 実施する場合は、学校日程をきちんと把握する必要があります。また①でチラシ全校配布にすれば、不要と思われます。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
一年間を振り返って	<p>コロナ禍を経て、学校と地域、我々推進員のつながりが希薄になりました。今後も働き方改革の影響で、コロナ過以前の関係に戻ることはないでしょう。ではどうするか？我々推進員の意識を変える必要があると思います。そこでヒントとなるのが、地域と学校が一緒になって子どもたちの教育を担っていくコミュニティ・スクール(横須賀市の設置率は100%)の考え方。ポスターなどの作品募集、非行防止キャンペーン、ウォークラリー。どれをとっても我々の活動は、校外育成プログラムと捉えなおすことができます。そこをアピールして、理解と協力を得るような姿勢が、今後は重要になるのではないのでしょうか。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>